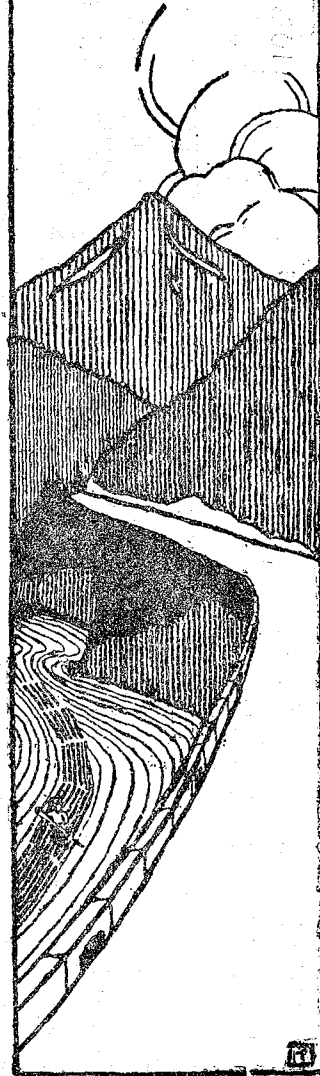


# 紹介



## 六甲ドライブウェイと

### 大循環道路の紹介

兵庫縣土木部長 田邊良忠

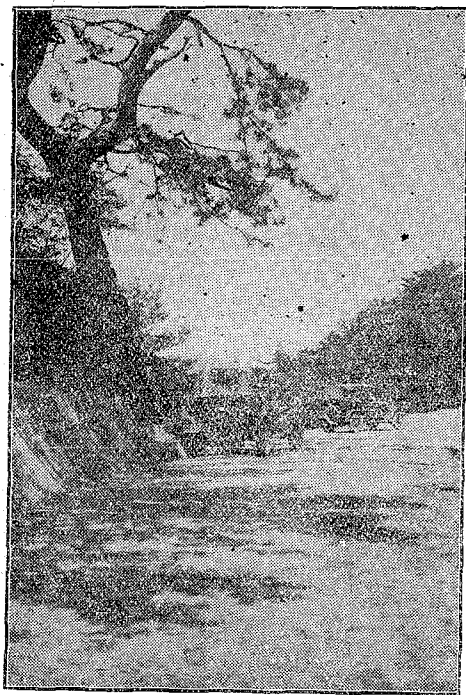
#### はしがき

山縣前知事の置土産とも云ふべき、六甲ドライブウェイはその一半を完成したばかりであつたが、畏くも本年七月三十一日九州へ御下向の途次暫し神戸に御足を留めさせられた、高松宮殿下には、その御繁忙の敷時間を割愛遊されて、親しく自動車に以て御登攀を試みさせられ、長知事以下私等が御案内申上げた事は思ひがけない、復、忘れ難い光榮であるので、茲に秃筆を呵して工事の概要を御紹介する所以である。

### 一 六甲ドライブウエーの計畫

六甲の連峯は海拔三千尺、攝津平野の西端に播居して阪神間をシムボライズする雄大な目標である、爲に有名であるばかりではなく、明治三十二年頃から英人某が、こゝの風趣にあこがれて所謂外人村を開拓し始めてから、近頃では随分、内外人の別荘地、避暑地として有名である。

山頂のグリーンには東洋一と稱へらるゝゴルフリンクのある事によりても、亦、冬はスケートやスキーに好適な處として一般人士の登山熱をあふり來つておる處から、こゝに相當のドライブウエーがあつたならばといふのがそもゝこの計畫の發



端であつた。

「六甲」を越ゆる道は、住吉から最高峯を極めて有馬に下り、遠く丹波但馬地方に連るものが昔からの本道で、今では府縣道住吉有馬線となつて居るが、距離が遠いのと車馬

の便宜がわるいので漸く忘れられかけて居る、別に神戸から但馬に直通する府縣道神戸豊岡線の中、有馬郡有野村大字唐櫃から分岐して、六甲山外人村の中心とも云ふべき武庫郡六甲村大字前ノ辻を経て、六甲村大字八幡に下り御影町に達して居る道が府縣道有野御影線であつて、表道は阪神急行電車六甲停留場から一直線である、のみならず裏道は有馬温泉から直通する登山道でもある爲め

六甲ドライブウエー(其一)

に、今では六甲へ登らうとする程の人は、大部分この道を利用してようになつて居る。この道を改良しやうとするのが今度の計畫である。

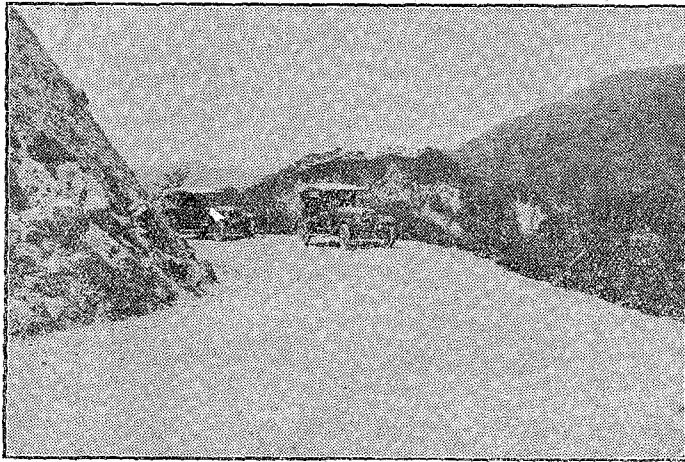
有野村唐櫃から分岐する有野御影線は、もと郡道であつた時代に、分岐點から五百間計りは幅九尺にこしらへてある、府縣道に編入されてから引續き二間幅にして更に五百間計りを改修したもので、それから頂上まで二千十間を全然新たなルートを選んで幅二間半を最小限として大體三間幅の計畫で、最急勾配十分ノ一、最小曲半徑七間、しかも半徑と勾配との相乗積は二百を下らないようにし、尙屈

曲部の懐は出来るだけ取擴げる事に留意し、出来るだけ盛

土を避けて切取地盤の上に所要の幅を取るように施工し、

或は曲線の急な外側には防險壁を設ける等の注意を加えて、用地は一切寄附によつて、工費十一萬五千八百圓を投じて、本年三月十五日に起工して七月十五日に竣工した、請負工事ではあつたが請負人の誠意と、地元村の好意と、監督員の努力とが、しつくり調子をそろへて豫定を早むること十五日で、無事に竣工を告げたのは、愉快であつた。

神戸市の中心である縣廳から、自動車を走らせば有野御影線の分岐點即ち六甲裏口までが、凡そ五里、此の間は指定府縣道ではあり



(二其) 六 甲 山 道 影 御 野 有

大體郡市を通じて三間以上に改修せられて、未改修の一里

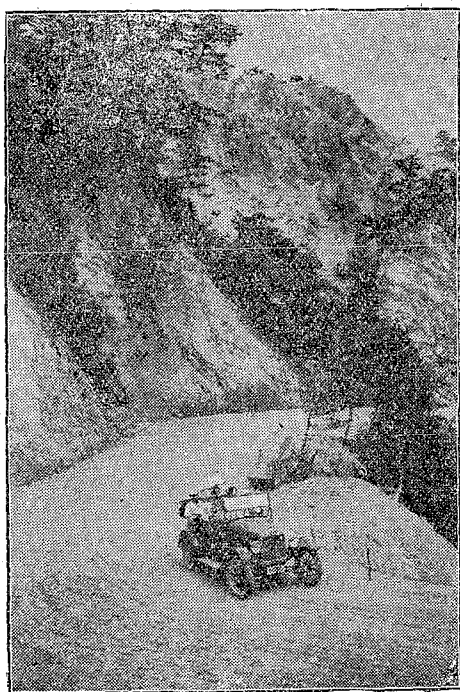
計りが二間内外ではあるが、勾配もさして急ならず神戸の裏山に沿ふて谷を走る眺めもなかく、におもしろい、所要時間は四十分。こゝから六甲頂上の改修終點迄が一部分未

改修ではあるが、自動車を遣るに何の不便も無い二里足らずを、二十分で達するので、ちようど、

神戸から六甲山頂までが一時間で足る譯があつて何れの大都市の中樞から僅かに一時間で海拔三千尺の仙境に自動車をドライブし得る處があらう

か、是れは確に吾等の誇り、我が神戸の誇りと言つても過言ではない。

山頂の展望は東、攝津平原の盡くる處山城、河内、和泉を境する山々から西は淡路一圓、眼の下に大阪灣一帯を取り



容れて紀淡海峽は手に取る様に近い、太平洋から吹き送る大氣は直ちに吾人の肺臓を包滿せしめて誠に仙境にあるの感を深からしむ實にや山頂の氣温は神戸市内に比して日中

六甲ドライブエッセイ(其三)

と雖も十度は低い、鶯が時を得顔に鳴いて居るし、ひぐらしの鳴く音も思いなしか寒いよ。うだ、此の間の事、吾等の一行は處女ドライブを試みて一夕の慰勞の會食をやつたが山上では浴衣で寒くてスキヤキのコンロを圍むで例

の酒で元氣をあふつたとは、嘘のようなほんとの話である。表道の改修は、六甲村大字八幡地内で阪神新國道から分岐して頂上迄一里二十五町を改修せんとするもので、内國道に接近した都賀、八幡地内は六甲區劃整理組合と共同作

業のような形で、幅員六間と四間とに仕上げるので此延長

終點から頂上迄一里十町許りは、六甲土地會社の經營する

五百一間餘、更に四百二十一間餘

所謂自動車道（幅二間半）がある

は三間幅で大字土橋に達する、表

譯であるが、その道は十四ヶ所許

道は殆んど海面に近い處から短距

り極めて急な折返しに近い曲線を

離の間に三千尺を上らうとする

六、七分一の急勾配とが重り合つ

爲に、裏道よりは遙に急峻で、谷

て居るし、とても安心して一般に

も迫つて居る關係から曲線も勾配

開放する事は出来ぬ爲に、此の部

も大分窮屈なのは致し方がない、

分を手入れして出来得る丈け曲線

此の間の最急勾配は七分ノ一で長

と勾配とを改良し、且つ防險壁等

くはないが、二、三ヶ所ある。曲

の施設を加へて裏道ほどに快適な

線はこゝまではさして悪くはな

ドライブウェーに改造すべく目下

い、やはり裏道同様用地は凡て寄

漸く設計をとりまとめた處である

附で本年三月中に起工して七月十

から引續き起工の準備を急いで居

五日に延長四百二十一間、幅三間

る、年内には大體仕上げる豫定に

を仕上げたもので此の工費二萬九

なつて居る、こゝで一寸お断りし

千四百圓、即ち今日の程度で小型

ておく事は會社經營の自動車道を

の自動車はさして苦しまずに通れる事となつた。只、改修

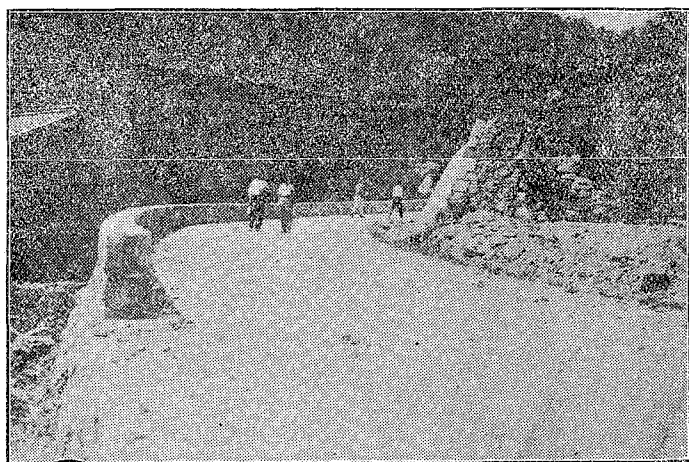
何故縣で直して使ふかといふ事であるが、縣道は一ツ谷の



東に別にあるけれども一層急峻で工費の比較でも段違いな  
 處から、此の新路線を補修して縣  
 道に乗りかへようとするもので、  
 用地は已に寄附を受くる事になつ  
 て居る。

いつたい、六甲ドライブウェイ  
 は本年度の事業で、しかも一般縣  
 の經濟とは別個のものである縣の  
 積立金、阪神地方開發資金を使ふ  
 仕事なので、單なる道路改良工事  
 と申すよりもより以上に六甲の開  
 發に重きを置いた仕事なので、此  
 の夏のシーズンに間に合はずべく  
 表も裏も共に急いで前年度末の三  
 月中に起工して、ともかくも此の  
 目的を達した次第である。

六甲の頂上は東西里餘に亘つて、餘り起伏のない峯つゞ



(五其) - エウアイラド甲六

従つてどこもかしこも展望に富んで居る  
 處から、此自然の風致をとり容れ  
 て、今でも七十戸許りの別荘があ  
 る外、ゴルフリンクに遊ぼうとす  
 る人や、行樂の爲に登山する人な  
 どで夏は殊に賑つてゐる有様で郵  
 便局が夏場は開かれ、阪神急行電  
 車その他の經營する旅館、食堂、  
 茶店等の設備も可なり行亘つて居  
 る爲に六甲山頂の一部にタウンが  
 出来るのも敢て遠くはあるまい、  
 従つて幅員六間道路を計畫中なの  
 で、是等の計畫は遅くも年度内に  
 完結する豫定だから、來年の春か  
 らは六甲の賑ひは又一入の盛況を  
 呈する事と思はれる、

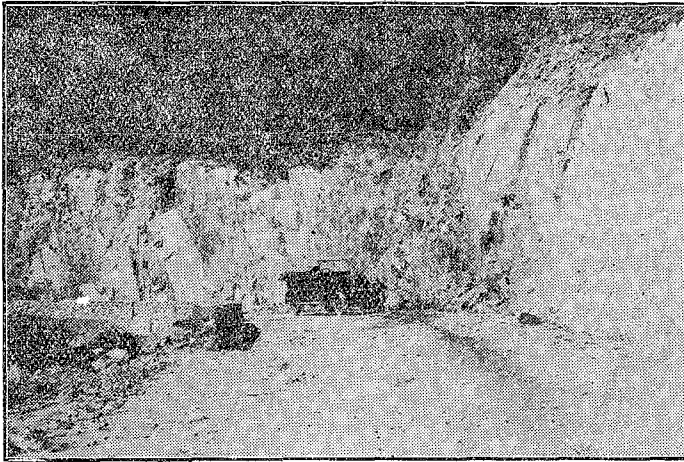
## ニ グレート、リン

### グ、ドライブウ

#### エーの計畫

以上で大體六甲ドライブウエーの現況を紹介し得た事と思ふ、少しほらまじり位の程度で敢てグレート、リング、ドライブウエーと銘打つて計劃してゐる大循環道路の事を紹介して御批評を乞へたい。

神戸を中心として一日行程の愉快なドライブウエーを求めらるならば、神戸―明石―三木―山田―有馬―寶塚―武庫川―西宮―神戸の大環状線と、その間に介在する神戸―山田―有馬の有馬道及神戸―六甲越―有野―有馬の横斷道路を考へる事が出来る。



以上の路線は大部分近年改修を加へたが概ね二間以上の

(六其) - エ ヲ プ イ ラ ド 甲 六

幅員があつて今日已に營業自動車に通つてゐる線路であるし、此の循環道路を完成すべく目標を建て、改修に従事して居るものであるから、ちと、早過ぎるかも知れないが大體を説明すると、神戸市の縣廳所在地をスタートして西入つて郡市界迄は殆んど改修済の電車線路に沿うて走る。須磨の西端は即ち神明國道改修工事の起點で、こゝからは八間乃至十二間の道路が工費六百五十萬圓で明石に至る二里二十四町餘を縣で改良して居て五年度迄には完成の豫定で

ある、滑らかにペーパされたアスファルト・コンクリートの

道は已に處々完成して、淡路島の眺めおもしろく此工事が

に改修済であつて、平坦な氣持のよい道になつて居る、そ

完成すると、四里許りを二十分程で走ることが出来る譯である、

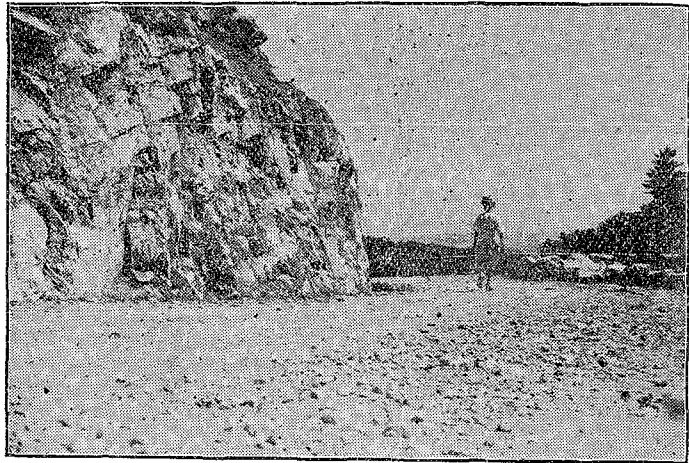
途中、須磨、舞子、明石の海岸で

眞帆片帆行き交ふ船を友として清遊を試みるならばつい半日や一日は短いと思はれるにちがいない。

明石から北へ三木町に達する間は、一部を除き未改修の處もあるが幅員は二間以上、勾配も曲線もゆるやかなもので五里七町許りを自然に美囊谷の高原に達すること出来る、三木は美囊郡の中心地として鐵物工業に名ある處だけに宿舎や料理にも氣のきいたものがある事を御吹聴して置く、

三木町から東して志染村に至る三十町餘は三間以上四間

とも決して悪いものではない、沿道の風趣は山又山、谷又



六 甲 下 伊 野 上 一 其 七

れから山田川の流域に沿ふて山田村に達する區間三里半許りは未改修で、局部は甚だ狭い處である代りに地方では播州耶馬溪と銘打つて居るたけあつて奇巖怪石の布置おもしろく、初夏の新緑や山つゝの眺めにも、秋紅葉の風致にも行人の心を慰むるものが多い。

山田村の箕谷からは、神戸豊岡線に合する線でも記した通り概ね三間以上に改修せられた相當な道である、有野を経て六甲に登るも可、直ちに神戸に歸るのも可、又、有馬に入つてその温泉に半月の勢を慰するはブルジョアならず



谷、清涼新鮮の氣に満ちて、たしかに別天地の感を深からしめる。

河鹿の聲を後に有馬を出で、東すれば、七曲りの峻もなだらかに改修せられて、只、水瓜岩、獅子岩等天工の妙味に涼を納れつゝ有馬川と武庫川の沿岸を縫ふ事三里許りで寶塚に出ることが出来る、此の間道路の幅員は二間以上三四間におよび沿道の風致も中々に捨て難い、勾配も急なものも少なく、曲線も概ね改良せられて居る。

寶塚は、もと、温泉の爲に少しは聞えた處であるが、今では阪神急行電車の經營で少女歌劇、温泉浴場その他の設備を加えて、阪神地方には無くてならぬ子供の遊び場所として餘りに知れ亘つて居る。

こゝから目下改修中の武庫川堤防迄數丁の間を逆瀬川沿に四間道路を、本年度に新設する事になつて居る、今でも少しの不便を忍べば武庫川堤防へは自動車で出られる、改修された武庫の堤は天端三間以上四間で青松白砂、虹の如き長堤をたどる心地は何とも云へぬ愉快なものである、こ

こにも阪神地方開發事業の一端として軽いペーパメントを施し、途中の橋を架換へて阪神新國道迄二里許りを心地よくドライブせしめやうと計畫して居る、國道へ出てからは大阪へも神戸へもほんの一瞬時で達せられるのである、阪神地方に旅行する方々や阪神地方を知らんとする方々に、切におすゝめする事は是非一度このグレート、リング、ドライブウエーをドライブせられむ事である。筆者の筆が能くてもどうしても沿線の情緒や景勝を紹介するには餘りに物足りない事を遺憾としつゝ實験を希望して已まない。

× × ×

× × × ×